



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン

上場取引所 東

コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大澤 弘毅

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ ディレクター (氏名) 渡邊 勝仁

TEL 03-6825-1250

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,751	1.6	370	9.8	380	10.3	263	20.2
2020年12月期第2四半期	2,796	3.4	337	27.4	344	26.0	218	28.7

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 267百万円 (23.3%) 2020年12月期第2四半期 217百万円 (28.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	27.24	
2020年12月期第2四半期	22.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	5,249	4,489	85.5	464.74
2020年12月期	5,190	4,351	83.8	450.51

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 4,489百万円 2020年12月期 4,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		13.50	13.50
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	4.6	750	8.2	750	7.1	484	7.8	50.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	10,242,000 株	2020年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	582,305 株	2020年12月期	582,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	9,659,695 株	2020年12月期2Q	9,659,695 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2021年8月11日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、長期化している新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に終息が見えない中、欧米を中心にワクチン接種が進んだことで経済活動が再開しつつあります。こうした世界情勢の中、わが国経済は、輸出入及び生産分野においてそれぞれ増加、回復傾向にありましたが、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発令に伴う飲食店の時短営業やイベントの入場制限要請などが続き、個人消費の停滞が続くなど国内経済活動の回復に向けた動きは鈍く、先行き不透明な状況が続いております。

当社事業と関連性が高い証券市場では、海外市場の反発や投資家の積極的な買いに支えられ横ばい傾向であり、投資信託市場では純資産総額が過去最大となるなど増加傾向が続いております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,751百万円（前年同期比45百万円減、1.6%減）、営業利益は370百万円（前年同期比33百万円増、9.8%増）となりました。また、経常利益は、380百万円（前年同期比35百万円増、10.3%増）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツ開発は堅調を継続するとともに、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』も順調に推移しており、前年同期比で増収増益となっております。

その結果、売上高は700百万円（前年同期比0.6百万円増、0.1%増）、営業利益は274百万円（前年同期比5百万円増、1.9%増）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

企業年金関連のソリューションサービスが大きく業績に寄与するとともに、生命保険関連の印刷・物流サービスの受注も堅調に推移しております。

一方、連結子会社である株式会社東京ロジプロの物流サービスについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と緊急事態宣言に伴う経済活動の停滞の影響を大きく受けており苦戦しております。株式会社アイコスについては翻訳・通訳サービスの受注微増傾向となりました。

その結果、売上高は1,012百万円（前年同期比22百万円増、2.3%増）、営業利益は113百万円（前年同期比31百万円増、39.1%増）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場の純資産総額の増加傾向は継続しており、これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は前年同期比で増加しました。また、新サービスの企画・開発及び既存サービスの改良に注力したこと、外注費や販売費及び一般管理費の削減効果もあり、前年同期比で増収増益となっております。

その結果、売上高は723百万円（前年同期比10百万円増、1.5%増）、営業利益は147百万円（前年同期比10百万円増、7.7%増）となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注が減少しております。販売費及び一般管理などのコスト削減を実施しておりますが、前年同期比で減収減益となっております。

その結果、売上高は315百万円（前年同期比79百万円減、20.2%減）、営業利益は27百万円（前年同期比0.9百万円減、3.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し、5,249百万円となりました。

流動資産合計は82百万円増加し、4,654百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が185百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が103百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は23百万円減少し、594百万円となりました。主な要因は、のれんが償却により21百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、760百万円となりました。

流動負債は28百万円減少し、685百万円となりました。主な要因は、買掛金が23百万円減少したことによるものであります。固定負債は50百万円減少し、74百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ137百万円増加し、4,489百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益263百万円の計上による増加と、剰余金の配当130百万円による減少であります。

<キャッシュ・フローの状況の分析>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ184百万円増加し、4,115百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、取得した資金は344百万円（前年同期は416百万円の取得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益378百万円、のれんの償却額21百万円、売上債権の減少額153百万円であります。また、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額23百万円、法人税等の支払額130百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は29百万円（前年同期は27百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出21百万円、有形固定資産の取得による支出9百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は130百万円（前年同期は173百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額130百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響につきましては、現時点では当社グループの業績への影響が不透明であることから2021年2月10日に公表の予想値を据え置いております。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,945,288	4,130,332
受取手形及び売掛金	551,814	448,802
仕掛品	31,983	29,011
その他	43,303	46,599
流動資産合計	4,572,389	4,654,745
固定資産		
有形固定資産	59,303	57,182
無形固定資産		
のれん	227,619	205,629
ソフトウェア	97,761	91,533
ソフトウェア仮勘定	6,712	14,290
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	333,563	312,923
投資その他の資産	225,686	224,462
固定資産合計	618,553	594,568
資産合計	5,190,943	5,249,313
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,264	190,392
未払法人税等	140,617	124,722
賞与引当金	15,414	20,843
その他	343,709	349,441
流動負債合計	714,006	685,399
固定負債		
退職給付に係る負債	17,933	19,999
その他	107,214	54,664
固定負債合計	125,147	74,663
負債合計	839,154	760,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	3,602,296	3,735,024
自己株式	△77,975	△77,975
株主資本合計	4,345,140	4,477,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△303	△226
為替換算調整勘定	6,952	11,608
その他の包括利益累計額合計	6,648	11,381
純資産合計	4,351,789	4,489,250
負債純資産合計	5,190,943	5,249,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,796,912	2,751,302
売上原価	1,722,946	1,661,441
売上総利益	1,073,966	1,089,861
販売費及び一般管理費	736,227	718,961
営業利益	337,739	370,899
営業外収益		
受取利息	363	337
受取配当金	98	125
持分法による投資利益	1,029	1,195
為替差益	—	1,457
受取保険料	—	3,859
保険解約返戻金	—	2,098
助成金収入	6,600	—
その他	638	323
営業外収益合計	8,729	9,397
営業外費用		
為替差損	1,654	—
その他	29	51
営業外費用合計	1,683	51
経常利益	344,784	380,246
特別損失		
固定資産除却損	0	1,950
特別損失合計	0	1,950
税金等調整前四半期純利益	344,784	378,296
法人税、住民税及び事業税	120,364	113,148
法人税等調整額	5,426	2,013
法人税等合計	125,791	115,161
四半期純利益	218,993	263,134
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,993	263,134

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	218,993	263,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	76
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,616	4,655
その他の包括利益合計	△1,661	4,732
四半期包括利益	217,331	267,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,331	267,866

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	344,784	378,296
減価償却費	28,807	26,994
のれん償却額	28,914	21,989
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,112	5,429
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,398	2,066
受取利息及び受取配当金	△461	△462
持分法による投資損益 (△は益)	△1,029	△1,195
売上債権の増減額 (△は増加)	137,334	153,509
たな卸資産の増減額 (△は増加)	33,949	2,971
仕入債務の増減額 (△は減少)	△35,813	△23,872
固定資産除却損	—	1,950
未払又は未収消費税等の増減額	2,080	△20,712
その他	△12,582	△75,883
小計	529,495	471,079
利息及び配当金の受取額	650	655
法人税等の支払額	△125,963	△130,058
法人税等の還付額	12,749	2,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	416,931	344,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,023	△9,599
無形固定資産の取得による支出	△16,098	△21,326
投資有価証券の償還による収入	38	19
保険積立金の解約による収入	—	1,808
定期預金の預入による支出	△600	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,683	△29,698
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△173,874	△130,405
その他	△120	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△173,995	△130,405
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	215,253	184,442
現金及び現金同等物の期首残高	3,536,725	3,931,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,751,978	4,115,716

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメントソ リューション事業	ファンド ディスク ロージャー事業	I T ソリ ューション事業				
売上高								
外部顧客への売上高	699,380	989,282	712,932	395,317	—	2,796,912	—	2,796,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,350	3,372	—	22,888	—	30,610	△30,610	—
計	703,730	992,654	712,932	418,205	—	2,827,523	△30,610	2,796,912
セグメント利益	269,373	81,240	136,782	28,061	—	515,457	△177,718	337,739

(注) 1. セグメント利益の調整額△177,718千円には、セグメント間取引消去△304千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△177,414千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメントソ リューション事業	ファンド ディスク ロージャー事業	I T ソリ ューション事業				
売上高								
外部顧客への売上高	700,030	1,012,205	723,653	315,413	—	2,751,302	—	2,751,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,500	2,614	5	32,904	—	37,024	△37,024	—
計	701,530	1,014,820	723,658	348,318	—	2,788,327	△37,024	2,751,302
セグメント利益	274,567	113,014	147,380	27,138	—	562,101	△191,202	370,899

(注) 1. セグメント利益又は調整額△191,202千円には、セグメント間取引消去△163千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△191,038千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。